

荒川区景観まちづくり オンラインシンポジウム

2020

1日 11.14 [土]

2日 12.12 [土]

両日 13:30 開始

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として延期となっていた「荒川区景観まちづくりシンポジウム2020」。二日間のオンラインイベントとして再開します。



新しい生活様式で

景観まちづくり 再開します!

私も参加してみたいなあ

防災広場にぎわいの場になりたい!

掲示板って、みんな見てるのかな

荒川らしい景観ってどんなの?

新しい時代の掲示板ってどんなだろう?

景観かるたを作ってみない?

荒川路地カタログって面白そう!

防災広場って知ってる?

そもそも景観ってなんだろう?

区民主体のまちづくり!

細い路地くねくね路地井戸のある路地

まちとくらしを デザインしよう

荒川区

2020年、新型コロナの緊急事態宣言発令に伴い、街に人がいなくなり、馴染みの店が次々閉じていく、それまで想像もしなかった景観を目にすることになりました。まちなみの将来を考えた時、私たちはどんなふうに関わることができるのでしょうか。景観のプロによる講演、塾生の研究発表などさまざまな角度からわがまち荒川区の景観を見つめ、まちのこれからを皆さんと一緒に考えるシンポジウムを開催します。

※この事業は公募区民による景観まちづくり推進委員会と、荒川区防災都市づくり部都市計画課によって運営されています。
※都合により内容等に変更が生じる場合がありますので予めご了承ください。



荒川区3つの景観基本軸①隅田川



荒川区3つの景観基本軸②都電



荒川区3つの景観基本軸③日暮里台地

主催 / 荒川区景観まちづくり推進委員会、荒川区
後援 / 荒川区建設業協会、東京都建築士事務所協会荒川支部
東京商工会議所荒川支部、荒川ケーブルテレビ

荒川区防災都市づくり部都市計画課 (担当: 塚野・鍛治)
TEL.03-3802-3111 (内線2816) fax.03-3802-0046
e-mail:toshikeikaku@city.arakawa.tokyo.jp

荒川区景観まちづくり塾

検索

詳しくはホームページで

荒川区景観まちづくり オンラインシンポジウム

1日目 11.14 [土] 13:30～

2日目 12.12 [土] 13:30～

参加費：無料(要予約)

※会場聴講も可能

プログラム

1日目 区民による景観まちづくり、これからを考える

「まちの景観は誰のもの？」

講師：篠原修氏

[東京大学名誉教授、GSデザイン会議代表、荒川区景観アドバイザー]

荒川区景観まちづくり塾の篠原塾長による講話。「人間は我欲の強い動物だから、自分のものであれば大切にすが、関係のない他人のものには関心を示さないし、大事とも思わない。自分の住んでいるまち、あるいはよく訪れるまちが良くなるかどうかは、それを自分のものかと思えるかどうかにかかっている。どういふ事を考え、試みるとまちを自分のものかと思えるか…」景観の専門家であり、デザインを行なってきた経験から、そのヒントとなるお話をさせていただきます。

2日目 知識や情報を共有する

「まちニハ」を育てる - 荒川区の景観まちづくり -

～居心地のよい空間をつくるために～

講師：岡村幸二氏 [株式会社建設技術研究所 東京本社都市部 技師長]

岡村氏は、荒川区景観計画策定時のコンサルティング・リーダーとして、計画の基礎調査をはじめ中村良夫先生を中心とした検討委員会の運営、計画策定に関わってきました。どのような経緯で景観計画が導き出されたか、荒川区ならではの特性は何かなど、区民が知りたい裏話や苦労話を交えてお話させていただきます。

1,2日目 共通 発信する、交流する

塾生による研究発表・意見交換会 ※研究テーマを変え2日に分けて実施

ファシリテーター：岡田智秀氏

[日本大学理工学部まちづくり工学科教授、荒川区景観アドバイザー]

岡田先生は、荒川区景観まちづくり塾の開講当初から講師として、ワークショップ等の指導・アドバイスをいただいています。「景観まちづくり塾」2019にて、荒川区のまちや暮らしの中で塾生が興味のあるテーマ（防災広場・空き地、歩道・路地、風物カルタ・防災マップ、掲示板・サイン）に取り組んできた研究内容の発表をし、参加者との意見交換や講師の方々からの講評等を行います。

講師プロフィール

篠原修 (しのはら おさむ)

1945年生まれ、神奈川県出身。1968年東京大学工学部土木工学科卒業。1991年～2006年3月まで東京大学教授、2006年4月～2011年3月まで政策研究大学院大学教授を歴任。現在は東京大学名誉教授、GS(ランドスケープ)デザイン会議代表。専門は景観デザイン、設計・計画思想史。

【主な著書・受賞歴】

●土木学会デザイン賞 最優秀賞(新豊橋、2010年) ●グッドデザイン賞 金賞(長崎・水辺の森公園、2004年) ●国立公園協会 田村賞(1986年) ●『土木デザイン論』(東京大学出版会、2003年) ●『土木景観計画』(技報堂出版、1982年)



岡村幸二 (おかむら こうじ)

1951年東京都墨田区生まれ。1976年東京工業大学土木工学科卒業。1976年株式会社建設技術研究所に入社し、建設コンサルタント技術者として都市部門の業務に従事。荒川区においては、2008年10月～2014年3月荒川区景観基礎調査及び景観計画策定業務を担当。

【主な著書】

●『親水空間論—時代と場所から考える水辺のあり方—(共著)』(技報堂出版、2014年) ●『フォトメッセージの風景—居心地の良い空間を求めて—』(技報堂出版、2018年)



岡田智秀 (おかだ ともひで)

1967年東京都大田区生まれ。日本大学大学院理工学研究科終了後、日本大学理工学部助手、専任講師(途中、米国ハワイ州立大学海洋・地球科学部客員研究員)、准教授を経て現職。専門は景観まちづくり、都市・地域計画、ウォーターフロント計画。

【主な学外・学会活動】

国土交通省・農林水産省 海岸景観形成ガイドライン策定委員 ●静岡県三保ノ松原白砂青松保全技術会議 / 海岸保全基本計画策定委員会委員 ●埼玉県景観アドバイザー ●越谷市景観アドバイザー ●流山市景観アドバイザー



【荒川区景観まちづくり塾】とは

良好で個性あふれる我がまちらしい景観の形成を実現するため、新たな地域力向上の担い手の発掘・育成を目指して、2016年に開講しました。

荒川区景観まちづくり オンラインシンポジウム 2020 【参加申込方法】

オンライン

現在、多くの人が長時間集まることが難しい状況に考慮して、このシンポジウムはオンラインで配信致します。また新しい生活様式の中、今後もオンラインによる会議やイベントは必須と考えておりますので、この機会にリモート体験をしながら、聴講していただきたいと思っております。参加希望の方は右記参加要項により、メールにてお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には視聴に必要な情報をメールでお送りします。

会場

直接会場で聴講もできますが、3密対策のため10名と少人数となります。会場聴講をご希望の方はお電話でお申し込みください。

※受付時の個人情報は厳重に管理し、荒川区景観まちづくりシンポジウムに関するもの以外に使用することはありません。

参加要項

表題を「景観シンポジウム 2020 参加申込」とし、下記項目を入力の上、toshikeikaku@city.arakawa.tokyo.jp 宛に送信。
※申込期限：各開催日の5日前まで(11/9、12/7)

- ①お名前(フリガナ)
- ②ご住所
- ③年齢
- ④職業または所属など
- ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス
- ⑦参加希望日 ※1日でも聴講可能

定員 | オンライン 30名 会場 10名

お問合せ
申込先

荒川区防災都市づくり部都市計画課(担当:塚野・銀治)
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 TEL.03-3802-3111(内線2816)
e-mail:toshikeikaku@city.arakawa.tokyo.jp

R70
古紙ハルパ配合率70%再生紙を使用

